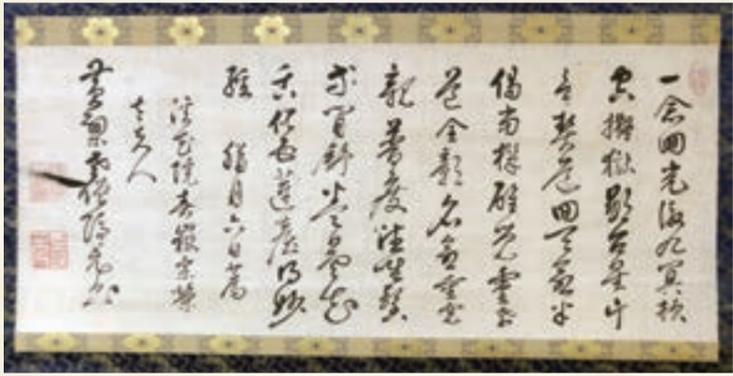


## ② 今回の研究で新たに発見!

### 発見① 森家2代目藩主長継にゆかりの隠元の書

この書は、寛文4年(1664)の暮れに50回忌を迎えた溪花院(津山藩主森長継の生母)を供養するため、長継が来日僧である隠元に依頼して書かれた七言律詩(漢詩における代表的な型の一つ)で、平成26年末に倉敷市内の寺院で見つかり、その後、隠元の真筆と判明したものです。隠元は、黄檗宗という宗派を日本で広めただけでなく、インゲン豆や煎茶、原稿用紙や明朝体などの中国文化を日本にもたらしたことで知られています。

黄檗宗への信仰心が厚いことで知られる長継が作ったとされる千年寺(下田邑)の逆修塔とともに、その信仰心を伺い知ることのできる貴重な資料です。



新たに見つかった隠元の書

#### 【口語訳】

ふっと思ひ出すと、亡き母親の面影が見え、まるで仏様の光が照り返すように、心の奥深くの暗闇を明るくしてくれる。にわかには空には高大な山が出現し、さらにその上に神聖な星が顕れる。  
母へのほんの一言の言葉が道を切り開き、天から受けた運命をめぐらす。ちよつとした言葉がきっかけとなって、母の霊を呼び覚ます。

孝行の道は全力で彰(あ)げれば、その名はますます重みを増す。長継公は怨みも情けも関わりなく広い心で、自らの徳をはかり考えて民を治め、その評判の高さは広く世に伝わる。

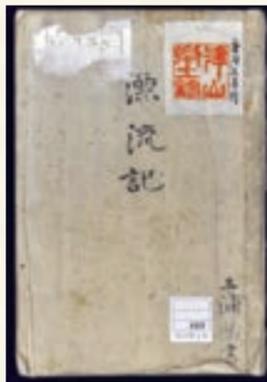
母の命は月下美人のように美しくもはかないものだったが、これからは、のどかな場所でのんびりと咲かせたい。母を手厚く供養して蓮の台に導くことで、奥深く素晴らしい悟りへの筋道を手に入れるのである。

### 発見②

### 江戸時代、アメリカ船に救助された備中国出身・徳兵衛の「漂流記」

嘉永3年(1850)に紀伊半島沖から漂流中にアメリカ商船に救助された備中国出身の徳兵衛の話を記した「漂流記」が、近世部会で津山郷土博物館の資料を改めて調査している過程で、確認されました。徳兵衛たちがアメリカ船や異国で体験したさまざまなできごとが記されています。

この「漂流記」の最後のページには、津山の町人の名前が記されています。徳兵衛と津山の町人との関係は不明ですが、ペリー来航・日本開国の衝撃的なできごとによって、津山の町人の間でも異国への関心が高まっていたことを伺わせる貴重な資料です。



備中国出身・徳兵衛の「漂流記」

### 研究成果を 公開しています

平成28年度美作学講座

1 津山市史関連研究から

■第3回「美作の古代史」

とき 10月1日(土)午後1時30分～3時

講師 今津勝紀さん(津山市史編さん委員)

■第4回「津山藩の妊娠・出産管理政策からみた「女」と「子ども」のいのち」

とき 12月3日(土)午後1時30分～3時

講師 沢山美果子さん(津山市史近世編執筆)

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ ・

## ③ 『津山市史』編さん各部会の進捗状況報告

### 自然風土・考古部会 (人間生活基盤としての津山の自然と主に埋蔵文化財から見た津山を執筆)

「考古」資料編に掲載する遺跡を、時代や地域性を考慮して、旧石器時代から近世までの約240遺跡に絞り込み、執筆担当を決定しました。



電磁調査

### 古代部会 (美作国の成立前から平安時代末期までを執筆)

「古代・中世」資料編について中世部会と調整し、記述する内容などの概略を決定しました。引き続き、資料の調査・整理を行います。昨年度は、美作国の官道沿いの白鳳寺院跡や郡衙の跡などの現地調査も実施しました。



資料撮影

### 中世部会 (平安時代末期から森政の美作国入封土地を与えられて大名がその領地に入るころまでを執筆)

「古代・中世」資料編の作成過程です。すでに文献から活字化されている資料でも、間違っているものがある事例があったので、原本か写真を確認するため、市内各所での資料調査のほか、奈良文化財研究所(奈良県)など市外にも出向き、古文書の原本を確認しました。



資料調査

### 近世部会 (森忠政の美作国入封から廃藩置県までを執筆)

「近世」資料編に掲載すべき候補を絞り込むため、津山郷土博物館が所蔵する文書群の選別会を実施しました。



資料選別会

また、通史編について、森家が美作国を統治した時代の大まかな内容構成と、執筆分担を決めました。

### 近現代部会 (廃藩置県から平成の市町村合併による新・津山市の誕生までを執筆)

各支所・出張所で保管されている行政文書や、市内の歴史民俗資料館の保存資料、津山郷土博物館が所蔵する資料などの調査を実施しました。



資料調査

### 民俗部会 (津山の民俗や民話などを執筆)

市内各地を回って、地域に関するさまざまな項目の聞き取り調査を進めています。また、阿波民具展示館や、市内にある歴史民俗資料館などにある民具の撮影を行うなど、調査を進めました。民話についても、公民館や地域の皆さんにご協力をいただき、市内各所で延べ約100人の方々から話を伺いました。



民話の聞き取り

また、通史編について、森家が美作国を統治した時代の大まかな内容構成と、執筆分担を決めました。

### 市史編さんに 協力ください

#### 教えてください!

■地域に伝わっていること  
民俗・民話の調査では、文字に残されない歴史を記録するために聞き取り調査を行っています。地域に伝わっていることや、両親・祖父母から聞いたこと、大正・昭和の暮らしなど、教えてください。

#### 連絡ください!

■古い書籍、古い写真  
ご自宅にある古い書籍、古いアルバムなど、貴重な資料になる可能性があります。

■津山で空き家になつていたり、壊す予定なので、蔵にある古いものを見てほしい!

■「古い書類がある。汚いけど、歴史的に重要なものかもしれない」

■「古い写真が出てきた。誰が写っているのか分からないし、特別な写真でもなさそうだけど、博物館に連絡した方がいいかな」

■市史編さんには、市民の皆さんの協力が不可欠です。

■市民全員で新しい津山市史を作っていきます。

■古いものを見つけただ際には、処分する前に一報ください。

